



# 被爆地派遣 ～ 広島市 ～



8月4日から6日までの3日間、高社中学校3年生の山岸成さん、武田隆斗さん、小松奈々さん、山崎智夏さんの4人が「平和使節」として、被爆地の広島県広島市を訪問しました。4人がまとめた報告書の中から、一部をご紹介します。（報告書の全文は、右記QRコードからご覧いただけます）

## 広島市立翠町中学校との交流

5日の午前中、翠町中学校の皆さんと平和交流会をしました。平和交流会では、お互いの学校の紹介や、日頃から取り組んでいる平和学習について発表し合いました。翠町中学校では、戦争の悲惨さを忘れない



▲連帯旗の交換

ため、平和について考えるために毎年全校で、校内慰霊祭を行っているそうです。連帯旗の交換も行い、お互いの親交を深めることができました。（武田隆斗）

## 中・高校生ピースクラブ

中・高校生ピースクラブとは、広島市と広島平和文化センターが平和の推進に取り組む人材育成のために設けている事業です。日頃から被爆のことについて学び、他の自治体の

中高校生との平和学習などを通じて平和の大切さを発信していきます。5日の午後、実際に、自分たちと同世代の中学生や高校生がいろいろなことを教えてくれるながら平和記念公園内を案内してくださいました。



▲中・高校生ピースクラブのお二人と

「千羽鶴がいっぱいになって納める場所がないというようなことはないのですか」とお聞きしたところ、「古くなつた鶴は、折って下さった方の思いを無駄にしないように紙を再利用して、はがきにするなどして配っている」と教えて下さいました。今までにきて下さった方への気持ちも、これから来る方への気持ちも両方考慮されていて、素晴らしい気遣いだなと感じました。（山崎智夏）

## 平和記念式典

6日、平和記念式典に出席させていただきました。気温36度と、とても暑

い中行われた。しかし、当然ながら原爆の熱さは、比ではない。たくさん犠牲者を出し、今なお犠牲者は、増え続けている。こんなにも被害をもたらした大量殺戮兵器、原子力爆弾。その恐ろしさを学び伝えていくことが僕たちの仕事である。被爆した地広島を訪れ、そして平和記念式典に出席したことで、このことに気づくことができた。このような機会をいただいたことに感謝したい。最後に、慰霊碑の前で献花をさせていただいた。そこで僕は、心から慰霊し、これからの世界恒久平和に近づけるよう力を尽くすことを誓った。だからこそ、さらに知識を深めていきたい。（山岸成）

## 3日間を通して

3日間を通して、戦争とはとても言葉では言い表せないくらい悲しく悲惨なものだと思えました。このような被害を日本だけでなく地球上で起こさないためにも、このような場所を残し、広島で学んだことを後世



▲原爆ドーム

に伝えていくことが私たちの役目だと思えます。平和に繋がるために、私が今出来ることを考えていきたいです。（小松奈々）



▲慰霊碑に献花

※下記QRコードから、当日の様子をご覧ください



井出みちるさん

竹田市出身の童謡作詞家・佐藤義美と一緒に「ちょうちょうの町」を作った中山晋平の歴史を知ることができました。中野市の皆さんは優しくて話しやすい雰囲気、あたたかかったです。



添田海斗さん

中野市は自然が豊かで空気がいいと感じました。土人形の絵付け体験は、なかなか難しかったけど、高社中のみんなと話しながらなので、楽しかったです。

